

学科試験における注意事項

1. 試験中は、試験監督者の指示に従ってください。
2. 問題用紙と解答用紙には、必ず受検番号と氏名を書いてください。
また、すべて HB又はBの鉛筆又はシャープペンシルで記入してください。
3. 問題は、初級の場合には試験監督者が2回ずつ読み上げます。
問題を読み上げた後、質問を受け付けますので、手を挙げてください。
4. 答案用紙に、正しければ「正しい」に、間違っていれば「誤り」に○を記入してください。(解答例を参照)
5. 試験中に、他の受検者への迷惑行為、または明らかな不正行為をした受検者は、試験監督者により試験を停止され、失格となります。
6. 試験開始から30分経過後に、退出できます。
退出する場合は、黙って手を挙げ、試験監督者の指示に従ってください。
7. 問題用紙と答案用紙は、試験終了後に回収します。(持ち帰りはできません。)
8. 受検者・通訳以外の方は会場への立入り不可です。通訳は注意事項の説明後、退場となります。

実技試験における注意事項

1. 試験は、試験監督者の指示に従ってください。
2. 全ての試験は受検者自身が行います。但し、混練り圧延加工作業の初級試験のみ、安全を考慮して、指導員付き添いの下で試験を行うこととします。(補助、助言があった場合は、試験を中止し、失格とする)
3. 課題の中で指定されていること以外は行なわないでください。
4. 材料は試験会場に準備してあるものを使用してください。
5. 道具は試験会場に準備したものを使用してください。
6. 支給された材料などに異常がある場合は、試験監督者に申し出てください。
7. 試験途中での道具の貸し借りは禁止とします。
8. 試験時間の計測は、試験監督者の「試験開始」の合図から、各課題の作業が終わった時までとします。
受検者は、各課題の作業が終わったら、手を挙げて「終わりました」と試験監督者に報告してください。
9. 標準時間を超えて作業を行った場合は、超えた時間分の減点をします。
又、打切り時間になった場合は、作業途中であっても直ちに作業を中止します。
10. 試験作業の内容に合った服装で受検してください。また、安全に注意しながら作業を行ってください。
服装、作業態度、安全への配慮等は、試験監督者が不適切と判断した場合、減点の対象とします。
11. 受検者が危険な作業を行った場合、他の受検者の迷惑となる行為をした場合、または、明らかな不正行為をした場合は試験を中止し、失格とします。
12. 監理団体や実習実施者が、受検者に手を貸したり助言合図等をする事も不正行為となります。
13. 受検者・通訳以外の方は会場への立入り不可です。通訳は注意事項の説明後、退場となります。

※学科・実技試験共に問題用紙は、試験後に回収しますので、持ち帰らないでください。

参加者による3密を回避できるように、試験会場は十分なスペースの確保をお願いいたします。